

# 穂高神社と等々力道祖神巡り 祭りと祈りの里 等々力集落を訪ねる

古代の海の民とされる安曇族が開拓したとされる安曇野。その中心に鎮座する穂高神社は安曇族によって奉斎されたとされています。また、安曇野は全国有数の道祖神の里とされ、とりわけ等々力地区には多くの道祖神が祀られています。安曇野を代表する穂高神社と道祖神の里を散策します。



- ①穂高神社  
塩の道道祖神  
長寿道祖神
- ②文字道祖神 (1953)
- ③双体道祖神 (1985)
- ④双体道祖神 (1841)  
二十三夜塔
- ⑤彩色道祖神 (1841)  
青面金剛像  
大勢至塔
- ⑥双体道祖神 (1849)  
大黒天  
馬頭観音  
二十三夜塔
- ⑦双体道祖神 (1886)  
大黒天像  
馬頭観音  
二十三夜塔
- ⑧双体道祖神 (1831)  
大黒天像  
如意輪観音  
青面金剛像
- ⑨東光寺  
双体道祖神 (1819)  
二十三夜塔  
青面金剛像  
馬頭観音  
馬頭明王
- ⑩本陣等々力邸
- ⑪双体道祖神 (1819)

①	450m	④	450m	⑥	300m	⑧	300m	⑨	200m	⑩	1000m	①
9:30	40分	10:10	20分	10:30	20分	10:50	20分	11:10	10分	11:20	40分	12:00